

メキシコ – 政策金利を据え置き –

＜政策金利を4.25%に据え置き＞

メキシコ中央銀行は8月11日（現地時間）、政策金利を4.25%に据え置くことを決定しました。

声明文では、「メキシコ経済は、個人消費の減速が見られることや、機械輸出や設備投資が引き続き弱いことから、前回会合時と比べると悪化傾向にある」と指摘しています。

インフレ率については、予想通りコア消費者物価は上昇しているものの、全体としては目標の3%を下回って推移しており、通貨安による価格転嫁の兆候は見られず、インフレ見通しについては安定しているとしています。

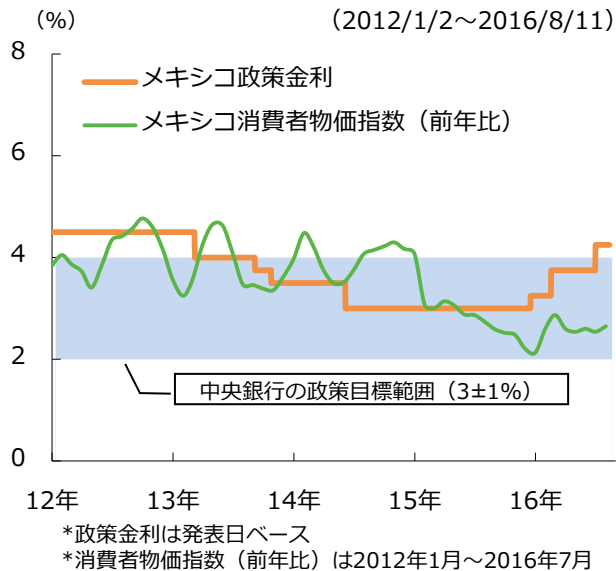
＜メキシコペソは原油高で上昇＞

メキシコ中央銀行はメキシコペソ安に対応するために、6月30日の前回会合で今年2月以来となる利上げを実施していたことから、政策金利は据え置かれると予想されていました。そのため、発表後にメキシコペソは大きく変動しませんでした。原油価格の上昇を受けて対米ドルで上昇しました。8月11日の海外終値は1米ドル=18.23メキシコペソ、1メキシコペソ=5.593円となっています。

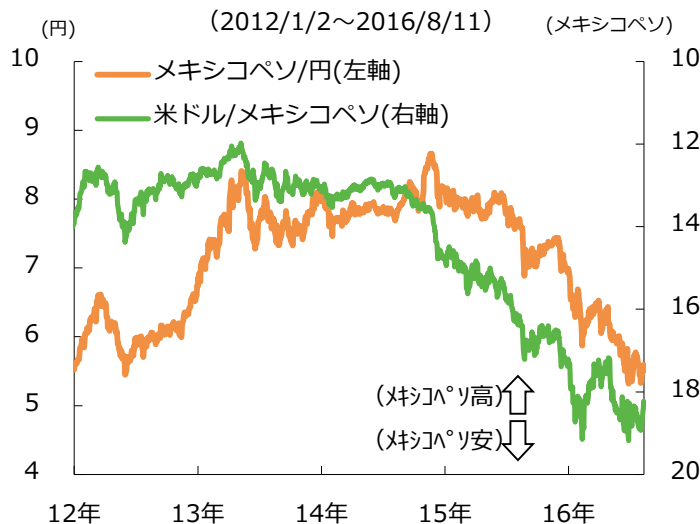
＜今後の見通し＞

今後のメキシコペソは、引き続きFRBによる利上げ時期や米大統領選、原油価格の動向に左右される展開が続くと思われます。一方、英国のEU離脱問題の悪影響を懸念して多くの主要国中銀が緩和姿勢を強めており、先進国を中心に異常な低金利環境の長期化が見込まれます。このため、グローバルに利回りを追い求める動きが相対的に高い金利と信用力を有するメキシコペソをサポートする要因になると考えられます。

＜インフレ指標と政策金利の推移＞



＜メキシコペソ為替の推移＞



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会